

「景観広告デザインガイドライン及び屋外広告物のデザインと印象評価に関する研究」活動に対して
富山大学 武山 良三

サインデザインに関する継続的な活動に対して贈られる SDA 賞特別賞を賜り、心よりお礼を申し上げたい。受賞対象となった調査研究は、都市景観の中で問題視されている屋外広告物が少しでも改善されることを目指し、どのようなデザインの屋外広告物が人により印象を与え、また、周辺景観と調和できるのかを明らかにすることを目的に行った。その結果、印象形成には、記載されている情報そのものが影響力を持っていること、画面の面積や設置数だけでなく、設置の仕方や視覚される時間帯によっても印象が変わることがわかってきた。近年は、当該調査研究に対する行政や業界団体からの照会が増加し、関心の高まりに手応えを感じている。

今後は、屋外広告物の送り手である広告主と受け手である住民を啓蒙できるような情報提供を行うことを目標にさらに研究を進めて行く所存である。引き続き、皆様のご鞭撻、ご支援を賜れば幸いである。

